

激しく岩に打ち寄せる波、砕け散る水しぶき。北斎の代表作「富嶽三十六景 神奈川沖波裏」と見まごうばかりの「波濤図」は、最晩年八十八歳の作品。しかし、そこは肉筆画。版画と比較して波の迫力は圧倒的である。線に太さや勢いの変化をもたせた筆遣い。ぼかしを使った陰影。胡粉を飛ばして表現した水しぶき。群青の煌めきで描く海面の輝き。版画では表現しきれない北斎の優れた技が、真の海の姿を見る者の目前に描きだすのだ。北斎の肉筆画の魅力が詰まった銘品である。

## 八十八歳の北斎がたどり着いた波の姿。

「波濤図」は、世界的に有名な「北斎の波」を肉筆画で鑑賞できる貴重な作品です。間近で見れば、北斎の筆遣いが見事。離れば波の激しさと奥の浜の穏やかさの対比を感じる。そんな見方ができるのも高精細複製品ならではです。晩年まで積み重ねた北斎の技と思いを多くの方に伝えていきます。

日本の美を、人へ、

未来へ、伝えていく。

北斎、日本に帰る

『波濤図』  
はとうず

葛飾北斎筆

Vol.02

綴プロジェクト作品  
(高精細複製品)

綴TSUZURI  
文化財未来継承プロジェクト



綴プロジェクト作品 波濤図

葛飾北斎筆 原本所蔵：スミソニアン協会フリーア美術館 寄贈先：墨田区

Facsimiles of works in the collection of the Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution, Washington, D.C. : Gift of Charles Lang Freer, F1905.276

公開情報  
二〇一九年十一月二十四日(日)に、綴プロジェクト作品を扱ったワークショップを、すみだ北斎美術館にて開催します。詳細は美術館公式サイトにて。



詳細は、公式サイト  
でご覧いただけます。  
[global.canon/ja/tsuzuri](http://global.canon/ja/tsuzuri)

Canon